



社会福祉法人 育和会

『いろいろな見え方があっている』

NIKO NIKO 館は、主に0歳から18歳くらいの子どもたちが集う児童館です。遊びや会話などのコミュニケーションを通じて交流が生まれ、主体的な活動によって考える力やおもしろい心が育まれています。子どもたちの中には、人の前で発言したり、自己表現をごく自然にできる子ども、緊張や不安からあまり得意ではない子どもがいます。

しかし同じ人間でも、年齢や場所によっても変わります。今見えているのは、その子の一面であってすべてではないということに、度々気づかされます。児童館は子ども同士のコミュニティの中で体験したことや、勇気を出してトライしたことが、その子にとって大きな力になると信じて、これからも子どもたちの居場所の一つになりたいと願っています。

(児童厚生員 渡部 梨香)



久万こども園 87名

NIKO NIKO クラブ 85名

おひさま保育園 16名

(R8.1.1 現在 児童数)



『ほいくゼミナール・21 in札幌』



ほいくゼミナール・21in札幌にスタッフ5名で参加させていただきました。
荒井洌先生の著書「1948年・文部省「保育要領」を読む」を元に勉強会が開かれました。各園の先生方の発表を聞き、日々の保育を振り返りながら子どもたちにとって何が大切なのか深く考える時間となりました。「外へ外へ」「室内でできることは外でもできる」という言葉が講義の中ででてくることも多く、久万こども園でも実践していることがたくさんあり、自信となりました。

(保育教諭 金田 明香音)

1948年・
文部省 荒井洌 著
『保育要領
—幼児教育の手びき—』
を読む 新書社

『ほいくゼミナール・21のバイブル』

久万こども園 (幼保連携型認定こども園)

『安心と挑戦』

今年度もあと3ヶ月となりました。久万こども園の子どもたちも春の出会いから心も身体もその子らしく成長した姿に私たちは喜びを感じます。こども家庭庁 『ながよし』



が作成した【はじめの100ヶ月（妊娠期から小学1年生）の育ちビジョン】の中に、その1つに乳幼児の育ちには「安心」と「挑戦」の繰り返しが必要とメッセージがあります。



『幸せなひととき』

◎「安心」とは身近な大人が寄り添い、アタッチメント（愛着）の経験をくり返すこと。

◎「挑戦」とは様々な人や自然の中で、豊かな遊びと体験ができること。

乳児期にたくさんの愛情と様々な事に自らの力でチャレンジできた子どもは、心の中にウェルビーイング【幸福感】を感じていることでしょう。

これからも園生活でたくさんの幸福感を一緒に味わいながら、お子様の育ちをご家庭と地域とで見守っていきたいと思います。

(副園長 大堀 純子)

おひさま保育園 (企業主導型保育園)

『交流保育 (五感を通して…)』

おひさま保育園の2歳児さんが、秋晴れの11月に、久万こども園までジャンボタクシーに乗って、みかんグループ(1~2歳児)の子ども達や、先生と交流保育をしました。



『砂の感触』

片道1時間ワクワク、ドキドキしながら到着!普段は味わうことができない山道のお散歩。落ち葉やどんぐり、松ぼっくり拾い。そして落ち葉の下からひょっこり顔を出した虫たちに驚いたり、新しい体験をたくさんしました。



『自然のなかに感じてます』

自然をたっぷりと感じる事が出来る久万高原町で、目で見て(視覚)、耳で聞いて(聴覚)、においをかいで(嗅覚)、味わって(味覚)、肌で感じる(触覚)「五感」は、まだまだ皆さんの言葉をもたない子どもにとって、脳にダイレクトに入り、子どもの心を健やかに育てます。

乳幼児期は、安心、安全で、居心地の良い環境が必要です。大人との愛着形成を育む日常の中で、生活や遊びを通して「五感」を意識しながら、保護者とともに子ども達の成長を見守っていきたいと思います。

(園長 山内 はづき)

放課後こども教室【学校・家庭・地域連携推進事業】

『フラガール出演』

第27回えひめ児童館ジャンボリーにて、公演の部でNIKO NIKO 館フラガールたち

11名がフラダンスの発表をしました。曲目は全部で4曲。この日に向けて、練習を積み重ねた成果を、保護者や観覧のお客さんの前で堂々と披露し、緊張しながらも最後は「たのしかった〜!」と笑顔で締めくくりました。地域でご披露できる場所があれば、ぜひ声をお掛けくださいね!!



『第27回児童館ジャンボリー』

【1月の活動日】

7日(水)	ネイチャー探検隊 笛ヶ滝 day NIKO スイーツ
8日(木)	おかしやさん
9日(金)	英語であそぼう
10日(土)	クラフトコーナー
14日(水)	フラダンス 笛ヶ滝 day NIKO スイーツ 昭和レトロ
15日(木)	おかしやさん
16日(金)	英語であそぼう
17日(土)	こっこんコットン
21日(水)	茶道教室 笛ヶ滝 day NIKO スイーツ
22日(木)	おかしやさん
23日(金)	英語であそぼう
24日(土)	Cook ドウドル
28日(水)	笛ヶ滝 day NIKO スイーツ 昭和レトロ
29日(木)	おかしやさん
30日(金)	英語であそぼう
31日(土)	クラフトコーナー

NIKO NIKO 館 (児童館、児童クラブ)

『ハンモックがお気に入り』



『思い思いの過ごし方』

NIKO NIKO クラブは、町内5校より毎日70名ほどの児童が利用しています。学校や学年が違っていても、宿題をしたり、おやつを食べたり、遊びを通じて仲良く過ごしています。『人気NO.1』



それぞれが居心地の良い場所で、気の合う仲間だったり、時にはひとりの時間を過ごす時間は大人も子どもにとっても、とても大切ですね。そんな場所で、今人気なのは「ハンモック」です。久万高原町婦人会久万支部より、今年頂きました。2人でこっそり秘密の話をするのもよし、一人で静かに過ごすもよし、夕方になるにつれ居心地の良い、憩いの場には自然と人が集まり笑顔の花が咲いています。

(放課後児童支援員 大野 敏子)

Happy House (地域子育て支援センター)

『施設交流で深まる絆』



『園庭での交流』

地域の親子さんと、こども園2歳児との合同で「焼き芋ごっこ」を楽しみました。新聞紙を丸めたお芋に、新聞や落ち葉の布団をかけ、「おいしく焼けてね。」と願いを込める姿は、とても微笑ましいものでした。『焼き芋じゃんけんグーチャーパー』



園庭で、ほくほくと焼きあがった本物のお芋を味わい、甘さに大満足。地域の親子さんにも、子どもたちの様子を見ていただき「地域で子どもを見守り育てる」という意識を深めました。施設交流は、年下への思いやりや、年上への憧れといった社会性を育み、次の交流へと繋がります。意欲、自然への親しみ、想像力などの成長に繋がる、大切な実体験となりました。

(保育士 大野 みどり)



『大きなお芋ができたね』

家庭教育支援 久万高原 Happy サポート

『お子さんの成長を一緒に見守ります』

久万高原町子ども家庭センター主催の「新米ママのつどい」は、年間3回、Happy Houseで行われています。妊婦と産婦（産後4か月以内の乳児の母）対象で、講師としてまつやま助産院の助産師が来られ、産前産後ヨガや座談会『赤ちゃん、こんにちは』があります。スタッフは、お子さんの託児をするなど、活動の支援をしています。出産後、Happy Houseに足を運んで下さる方もあり、お母さんたちの出会いと情報交換の場となっています。Happy サポートは、町内のいろいろな機関と連携しながら、子育て親子の成長を見守っています。



『赤ちゃん、こんにちは』



『新米ママのつどい』

【1月の活動日 ■ 相談日】

6日(火)	
8日(木)	ふれあい広場
9日(金)	すくすく day
13日(火)	
15日(木)	ふれあい広場
16日(金)	
20日(火)	Happy カフェ
22日(木)	ふれあい広場
23日(金)	
27日(火)	
29日(木)	ふれあい広場
30日(金)	

